

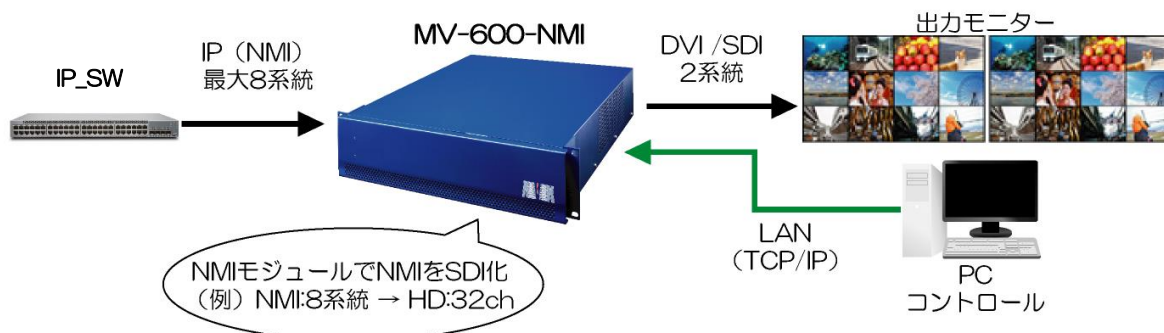
アルビクス・マルチビューワ (MV-600-NMI) V1.8

概要/特長

1. アルビクス・マルチビューワは、NMI 信号(10Gbe)を入力し、大画面・高解像度液晶ディスプレイなどに分割表示することができます。
2. NMI 入力は、NMI 1 系統で HD× 4 系統または、3Gx2 系統、4 k × 1 系統が受信可能。
NMI 入力基板 1 枚に、NMI モジュールを 2 系統搭載します。
4k × 1 系統入力では、2SI のうち 1 系統を子画面として表示します。
※HD:1920x1080 59.94i YC422_10bit (圧縮)
※3G:1920x1080 59.94p YC422_10bit Level-A (圧縮)
※4k:3840x2160 59.94p YC422_10bit Level-A,2SI (圧縮)
※入力信号は NMI モジュール仕様に依存します。その他のフォーマットについては、お問い合わせください。
3. NMI 入力基板は 1 筐体に 4 枚実装可能で、NMI 信号を 8 系統 (HD で最大 32ch) 入力可能です。
NMI 信号を SDI 化し内部処理を行います。SDI 化した SDI 信号をモニター出力します。
4. レイアウトが全く異なる分割画面を 2 系統出力します。
例 1、16 分割画面を 2 系統出力することが出来ます。
例 2、8 分割画面と 24 分割の 2 系統出力することが出来ます。
例 3、32 分割画面を 1 系統に出力することが出来ます。
また、カスケード接続が可能で、入力数を増やす事も可能です。
2 台カスケード接続で HD 最大 64 ch 入力
1 筐体内に SDI 入力基板も混在実装可能です。
5. エンベデッドオーディオに対応し、最大 8 ch のオーディオレベルバーを合成することができ、目視による音声の確認が出来ます。
6. LTC 入力が可能でアナログ時計/デジタル時計表示を同時に表示可能です。
7. レイアウトパターンは出力毎に 8 個持つ事が可能です。
8. チャンネル名称は、シフト JIS コード (第一水準) の文字が表示可能です。
9. 分割表示の他にコメントウィンドウ表示があり、コメントウィンドウで文字やタリーなどを自由に表示することが可能です。
10. 外部制御は LAN インターフェイスを装備し、アルビクスエラー装置と連動してタリーの様に表示する事が出来ます。設定は TCP/IP で行います。
機器状態 (ファン、電源異常) は SNMP トラップ通知します。
11. 電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

仕様

<機器構成イメージ>



仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

＜構成例 1＞

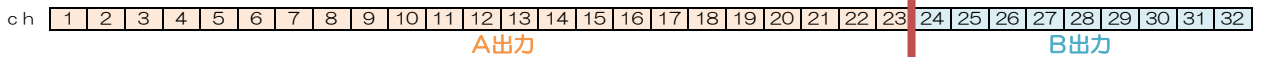
※構成などの詳細についてはお問い合わせ下さい。

NMI8 系統入力(HD:32ch) 2系統出力が可能です。

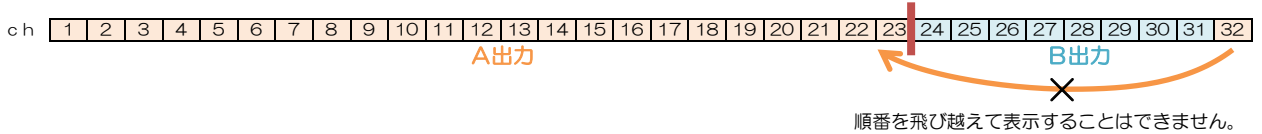


※但し、入力ch順での割り付けとなります。

入力ch順なら、どこで切り分けてもOK ⇒

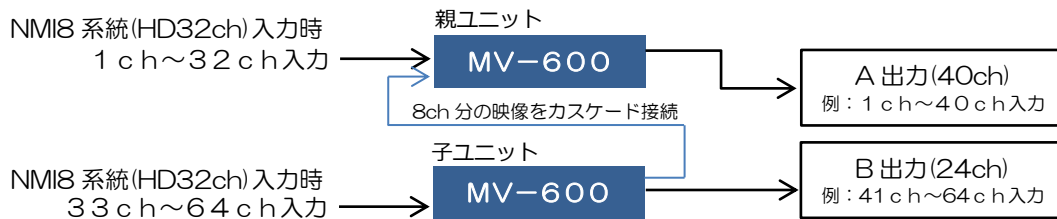


※A出力に【1～23chと32ch】、B出力に【24ch～31ch】を割り付けるなど、順番を飛び越えたレイアウトはできません。



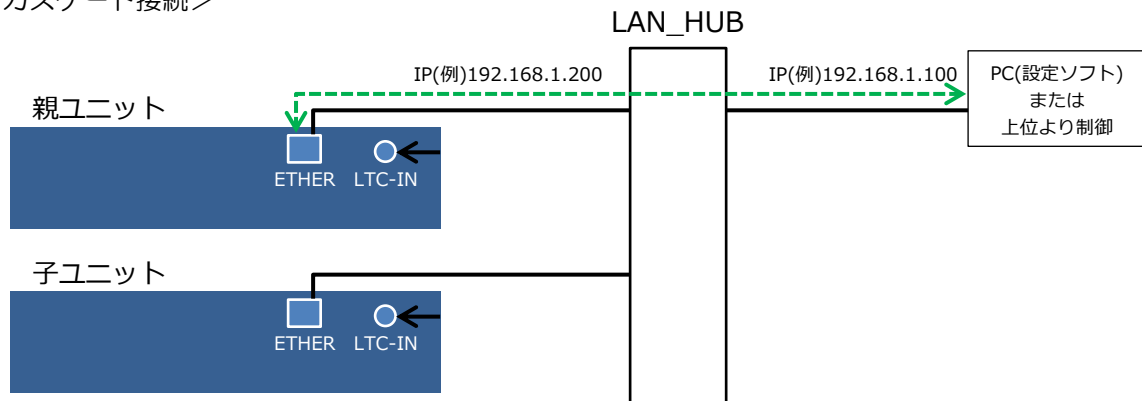
＜構成例 2＞

2台カスケード接続することにより、最大NMI16 系統入力(HD:64ch) 2系統出力が可能です。



カスケード機能は、A 出力に 33以上表示する必要が有れば使用する。A 出力にのみ加算可能。

＜カスケード接続＞



※カスケード接続の場合、PC（設定ソフト）または上位より制御しますが、制御対象は親ユニット（例：192.168.1.200）のみとなります。（LAN接続は2台とも必要です。）
子ユニットの制御は親ユニットが行います。 親）10.3.1.100（仮想） 子）10.3.1.101

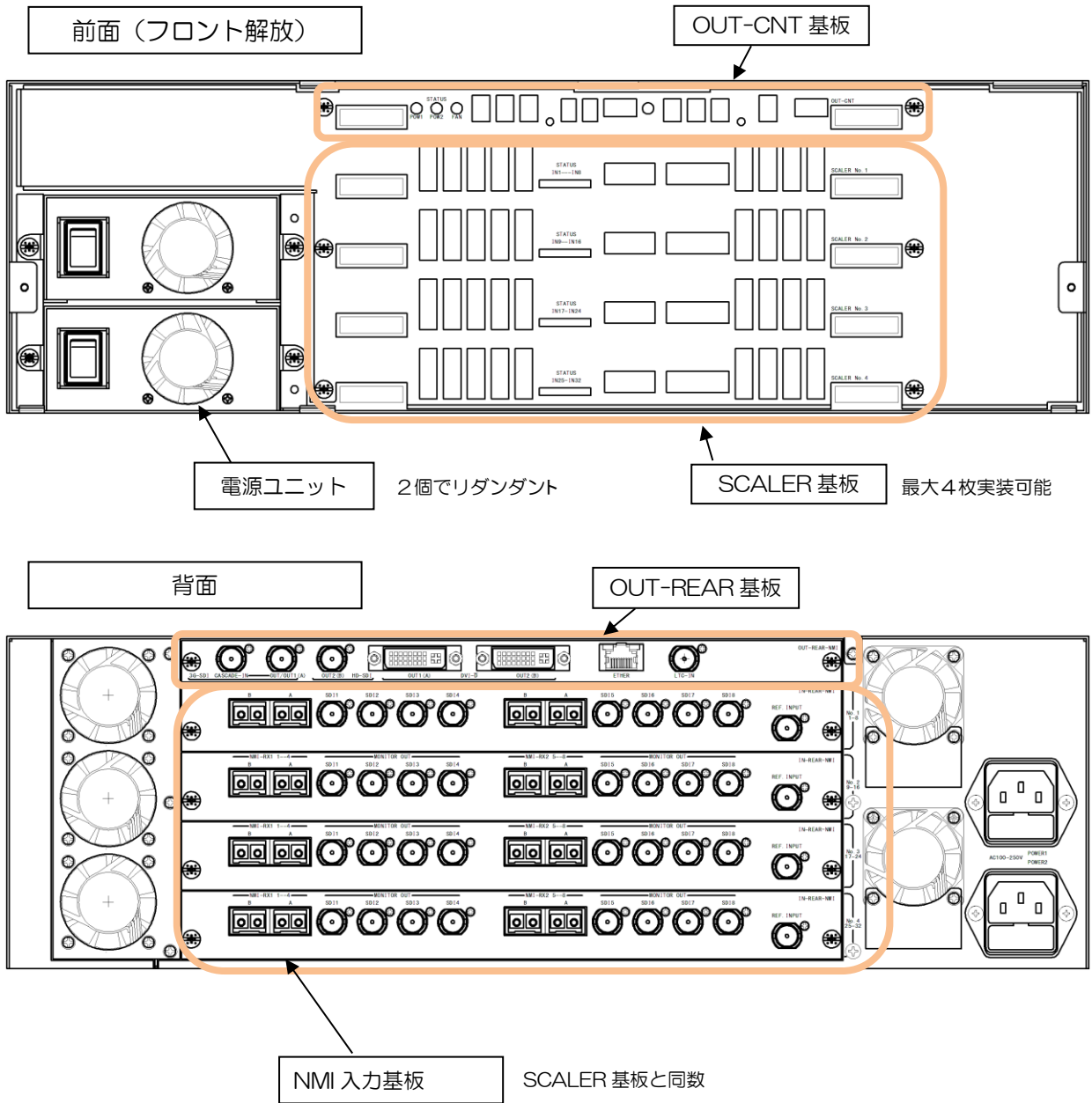
※PC、HUBはお客様用意となります。

※時計表示の為にLTCはどちらのユニットにも必要です。

<ユニット>

◆IN-REAR-NMI 基板、SCALER 基板、OUT-CNT 基板、OUT-REAR で構成し、最大実装時、32chの入力をレイアウトが異なる分割画面で2系統出力します。

◆外観図



※SDI 入力基板も混在実装可能です。基板構成はお問い合わせください。

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

<NMI 入力基板：MV-600-IN-NMI>

- ◆1ユニットに最大4枚（NMIを8系統分）実装可能です。（SCALER基板と同数）
NMI 入力基板1枚にNMIモジュールを2個搭載します。
- ◆NMI信号を受信し、NMIモジュールでSDI化し、SCALER基板に出力します。
- ◆入力信号 : NMI信号×2系統
- ◆入力信号コネクタ : SFP+（10Gbe）×4個（NMI信号2重化×2系統）
NMI信号シングルで使用する場合、NMI×2系統で物理コネクタは2個になります。
- ◆入力映像信号 : HD:1920x1080 59.94i YC422_10bit（圧縮）
3G:1920x1080 59.94p YC422_10bit Level-A（圧縮）
4k:3840x2160 59.94p YC422_10bit Level-A,2SI（圧縮）
※入力信号はNMIモジュール仕様に依存します。その他のフォーマットについては、お問い合わせください。
- ◆音声信号 : 48kオーディオ 8ch対応
- ◆モニター出力信号(SDI) : NMIモジュールでSDI化した信号をSDI出力します。
信号は、入力映像信号と同じ。
- ◆モニター出力信号コネクタ : BNCコネクタ×8系統

<SCALER基板：MV-600-SCALER-8>

- ◆1ユニットに最大4枚実装可能で、最大32chの子画面を出力可能です。
- ◆入力8系統のリサイズ・合成処理を行います。
- ◆その他機能
 - ・SDI受信：SD/HD/3G-SDIを受信します。（自動判別、混在可能）
※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
 - ・オーディオオーバー表示：エンベデッドオーディオを分離しオーディオオーバーとして合成します。
 - ・IP変換：動き適応型IP変換を搭載しなめらかな動画を実現します。
 - ・リサイズ：任意位置、サイズに変換します。

<OUT-CNT 基板：MV-600-OUT-CNT>

- ◆1ユニットに1枚の実装が必要で、2出力を行います。
- ◆チャンネル名称やコメント表示を合成し2出力します。制御部も含まれます。

<OUT-REAR 基板：MV-600-NMI-OUT-REAR>

- ◆1ユニットに1枚の実装が必要で、2出力を行います。
- ◆DVI出力、SDI出力を各2個、カスケードSDI入力(1個)、外部制御(1個)のコネクタがあります。
- ◆DVI出力コネクタ : DVI×2個（DVIデジタル）
DVI出力信号 : 出力タイミング 1920×1080-59.94P
※ケーブル長の制限があります。
※DVI-HDMI変換ケーブルを使用することでHDMIモニターに出力可能です。
- ◆SDI出力コネクタ : BNC×2個 1個はカスケード出力(3G-SDI)共用。
SDI出力信号 : HD-SDI 59.94Hz
- ◆カスケードSDI入力コネクタ : BNC×1個
SDI入力信号 : 3G-SDI 59.94Hz
- ◆LTC入力コネクタ : BNC×1個
LTC入力信号 : LTC (SMPTE 12M)
: アナログ時計とデジタル時計を合成します。
- ◆外部制御コネクタ : RJ-45×1個
制御方式 : TCP/IP

<筐体：MV-600-NMI-TN>

- ◆外形 : 3Uラックマウントサイズ
W430×H132×D635mm
- ◆電源ユニット : 2個実装可能です。
(MV-600-PU) 2個でリダンダント、フロントメンテナンス可能です。
- ◆重量 : 約12kg (予定)
- ◆消費電力/皮相電力 : 約370W/350VA (予定)

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。